

# 睡眠からアプローチする 中部大学 認知症予防シンポジウム 4

日時：2017年10月1日 9時50分から13時00分

場所：中部大学三浦記念会館 6階大ホール 名古屋市中区千代田5-14-22  
TEL 052-241-3300

9:50-10:05 司会 野田 明子（中部大学）

I はじめに 「睡眠からアプローチする認知症予防」  
宮崎 総一郎（中部大学）

10:05-10:25

II 教育講演 「睡眠時無呼吸と認知症予防」  
座長 篠邊龍二郎（愛知医科大学）  
北村 拓郎 先生（産業医科大学）

10:30-11:30

III 特別講演1 「睡眠で認知症予防」  
座長 佐藤 尚武（滋賀短期大学）  
大塚 邦明 先生（東京女子医科大学名誉教授）

11:40-13:00

IV 特別講演2 『10歳若返る！「インターバル速歩」  
ーその背景と効果のエビデンスー』  
座長 河村 守雄（中部大学）  
能勢 博 先生（信州大学スポーツ医科学）

後援：中部大学、日本睡眠教育機構

事務局：中部大学生命健康科学研究所名古屋キャンパス

申し込みメール [miyazaki@jses.me](mailto:miyazaki@jses.me)

FAX 052-261-9641

## 大塚 邦明 先生

医学博士。循環器内科学、時間医学、老年医学が専門。1948年愛媛県生まれ。1998年より東京女子医科大学東医療センター内科教授、病院長を経て2013年東京女子医科大学名誉教授。現東京女子医科大学特定関連施設戸塚ロイヤルクリニック院長。

時間医学とフィールド医学の融合を求めている。主な著書に「時計遺伝子の力をもっと活かす」（小学館101新書）「時間内科学」（中山書店）「病気になるらないための時間医学」「健やかに老いるための時間老年学」（ともにミシマ社）「眠りと体内時計を科学する」（春秋社）「7日間24時間血圧からみる時間高血圧学」（医学出版社）など多数。

## 能勢 博 先生

1952年生まれ。京都府立医科大学医学部卒業。京都府立医科大学助手、米国イエール大学医学部博士研究員、京都府立医科大学助教授などを経て現在、信州大学学術院医学系教授（疾患予防医科学系専攻・スポーツ医科学講座）。画期的な効果で、これまでのウォーキングの常識を変えたと言われる「インターバル速歩」を提唱。信州大学、松本市、市民が協力する中高年の健康づくり事業「熟年体育大学」などにおいて、約10年間で約600人以上に運動指導してきた。

趣味は登山。長野県の常念岳診療所長などを歴任し、81年には中国・天山山脈の未踏峰・ボゴダ・オーラ峰に医師として同行、自らも登頂した。著書に「いくつになっても自分で歩ける！『筋トレ』ウォーキング」（青春出版社）、「山に登る前に読む本」（講談社）など。